

若葉地区雨水枝線工事 変更

1. 事業概要

若葉地区の谷からの水を排水している既設管（管径 600mm）のコンクリート雨水管について、令和 3 年度にカメラ調査を行った結果、施工から 50 年以上が経過しており経年劣化が著しく、クラックや管ずれが生じていることが明らかとなりました。

この管路については、破損し閉塞した場合、谷からの雨水が排水されず周辺宅地に水が溢れ浸水等の被害が生じる他、破損箇所から土砂の吸出しが起これば大規模な宅地陥没が起こる可能性を懸念しております。

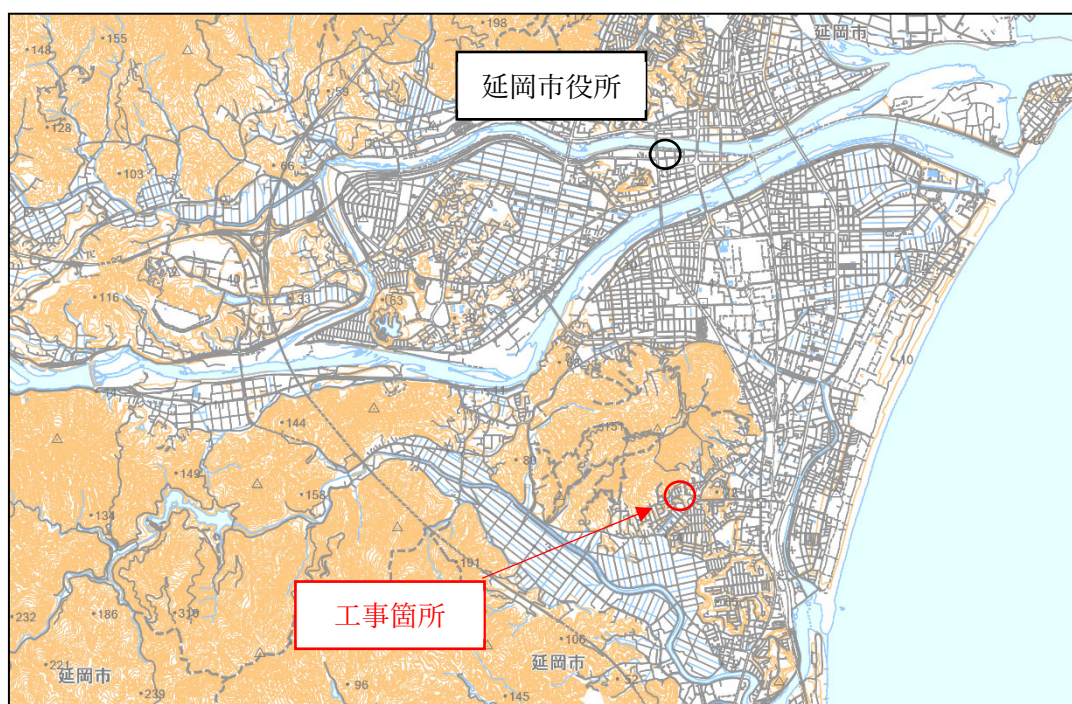
管路周辺に多くの宅地が密集していることから、早急な対策が必要と考えており、令和 7 年度から令和 8 年度にかけて、新たにバイパス管の整備を行い、既設管については、バイパス管整備後の令和 9 年度にモルタル等の充填材を注入し閉塞させることにより、安心安全な住環境の保護を目的とした雨水管路の整備を計画していました。

令和 6 年度に「若葉地区雨水枝線工事」に関する意見募集（パブリックコメント）を実施のうえ、令和 7 年度からバイパス管の整備に着手していましたが、①地質調査を基に当初想定していた土質と施工時に確認された土質が異なること、②推進工法の施工に伴う地盤改良によって隣接家屋へ影響がおよぶ可能性が確認されたこと、③詳細設計実施による設計変更、④昨今の物価上昇に伴って事業費が増えることとなりました。また①、②の現場条件変更による工法検討及び工法変更に伴う資機材の調整・調達等に不測の日数を要し、事業計画期間の延長が必要となりました。

つきましては、当該工事の継続実施に伴い、前回実施した意見募集時（令和 7 年 1 月 18 日～令和 7 年 2 月 6 日）から変更となった工事の概要及び事業費等をお示しすることで、広く市民の皆様からのご意見をお伺いしたいと考えており、意見を募集するものです。

なお、本事業は延岡市政策等の形成過程における市民等参加条例（パブリックコメント条例）施行規則第 4 条第 1 項第 3 号、事業費が 25 パーセント以上変更となるものに該当するものです。

2. 位 置 図



3. 工事概要

前回の意見募集時（令和6年度）における工事内容及び事業費については、基本設計を基に算出しておりましたが、以下の理由によって工事内容及び事業費が変わることとなりました。

①：現場条件変更による工事費の増額

地質調査を基に当初想定していた土質（粘性土・礫質土）と施工時に確認された土質（転石・玉石）が異なることが判明したことによる泥水式推進工法（推進機械）の変更

②：現場条件変更による工事費の増額

泥土圧（曲線）式推進工法の施工に伴う地盤改良によって隣接家屋へ影響がおよぶ可能性が確認されたことによる1スパンの曲線推進から2スパンの直線推進（立坑φ2200mmの追加）への変更及び狭隘箇所施工可能である推進工法（鋼製さや管式）の追加

③：設計変更による工事費の増額

詳細設計実施による設計変更

（開削工法の構造物、推進工法（泥土圧（直線）式 → 泥土圧（曲線）式＋泥水式）、数量）

④：物価上昇による工事費の増額

昨今の物価上昇

【工事内容比較表】

工 種	前回意見募集時（令和6年度）	今回意見募集時（令和8年度）
バイパス 管整備	ヒューム管布設工φ600mm（開削工法） L= 47.8 m	ボックスカルバート布設工□600×600（開削工法） L= 45.3 m 【③、④】
	ヒューム管布設工φ600mm （泥土圧式（直線）推進工法） L=117.0 m	ヒューム管布設工φ600mm（泥土圧（曲線・直線）式推進工法、 泥水式推進工法、鋼製さや管式推進工法） L=154.3 m 【①、②、③、④】
	ヒューム管布設工φ800mm（泥濃式推進工法） L= 68.0 m	ヒューム管布設工φ800mm（泥濃式推進工法） L= 33.0 m 【③、④】
	立杭φ2500mm N= 6.0 箇所	立杭φ2500mm N= 4.0 箇所 【③、④】 立杭φ2200mm N= 1.0 箇所 【②、④】
	マンホールφ1200mm N= 4.0 基	マンホールφ1200mm N= 5.0 基 【②、④】
既設管 充填	既設管充填工（既設ヒューム管φ600mm） L=203.0 m	変更なし 【④】

※立杭工・推進工法とは

施工区間内に数ヶ所、立坑（たてこう）という縦穴を掘り、立杭間を専用機械で横方向にドリルのように掘進していきながら管を布設していく工法です。

また、立坑から次の立坑までの立坑間を1スパンといい、スパン数が増えると立坑やマンホールの数も増えることになります。

【事業費比較表】

工 種	前回意見募集時 (令和 6 年度)	今回意見募集時 (令和 8 年度)	主な増減理由
バイパス 管整備	254,000 千円	467,352 千円 (213,352 千円増額) 84 パーセント変更	現場条件変更による工事費の増額【①、②】 71,929 千円
既設管 充填			設計変更による工事費の増額【③】 95,705 千円 物価上昇による工事費の増額【④】 45,718 千円

また、前回の意見募集時（令和 6 年度）における事業計画期間（令和 7 年度～9 年度の 3 か年）についても、①、②の現場条件変更に伴い当初計画していた推進工法では施工ができない状況となったため、現場条件に対応が可能である推進工法の検討や工法検討後の推進工法変更に伴う資機材の調整・調達に不測の日数を要したことから、下記のとおり事業計画期間（令和 7 年度～令和 11 年度の 5 か年）の延長が必要となりました。

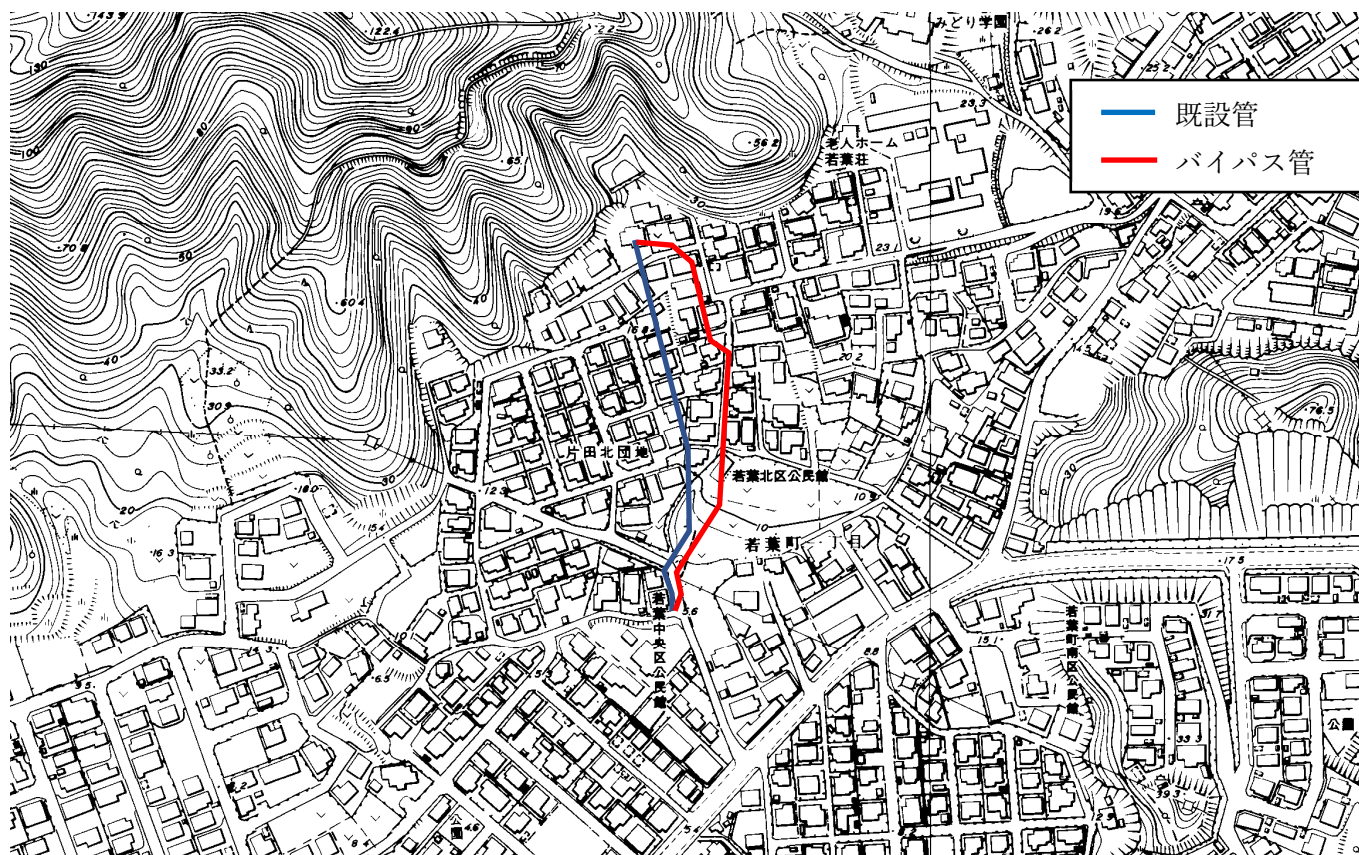
【事業期間比較表】

工 種		令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
バイパス 管整備	開削工法					
	推進工法 φ 600					
	推進工法 φ 800					
	既存ヒューム管 φ 600mm 充填					

 前回意見募集時（基本設計）

 今回意見募集時（実施）

※下流側からバイパス管整備を行っているため、推進工法 φ 600 の施工が完了した後、推進工法 φ 800 の施工を行う工程になります。また既設管充填についても、バイパス管整備完了後の実施となります。



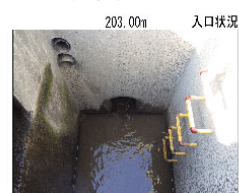
管路位置写真図 S=1,000
延岡市若葉町

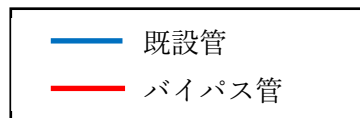
既設管状況



流入部

流出部





全体平面図 S=1/300

〔鋼製さや管式推進工法〕

L=10.5m

〔泥土圧式(直線)推進工法〕

L=19.1m

